

緑の相談所だより

— 第 7 2 号 —

2001. 10. 1 発行

編集：財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所

冬をむかえる洋らんの管理

日 時 10月14日(日)
午後1時半～3時半

講 師 旭川らん友会
会長 笠原幸三さん

講 習 会

いずれも

定員 50名

受講料無料

冬にむけての庭木の管理

日 時 10月28日(日)
午後1時半～3時半

講 師 旭川市緑の相談所
相談員 佐藤文男

花と観葉植物—冬の室内管理のコツ

日 時 11月11日(日)
午後1時半～3時半

講 師 旭川市緑の相談所
相談員 佐野元雄

知って得する来年に向けての花壇計画

日 時 11月25日(日)
午後1時半～3時半

講 師 NPO北海道・花ネットワーク事務局
事務局長 林 准子さん

お申し込み・お問い合わせは ☎65-5553

温室の仲間たち

ヒポシルサ(ネマトンサス、キンギョノキ)

Nematanthus gregarius

イワタバコ科

原産地 南米 非耐寒性多年草 四季咲き

花径2cm 草丈30cm

植え替え時期 5～6月

用土 水はけの良い土

夏は室内ならレースのカーテン越し、戸外なら
風通しの良い半日陰に。

冬は10℃以上必要。

オレンジの花色と形から金魚の木と呼ばれている。



源氏物語の植物

源氏物語は54帖からなりそのタイトルはいずれもまことに優雅である。そのうち植物に係わるタイトルの着いた帖は24帖にのぼる。(数字は帖の順番)

1桐壺きつね、2帯木出ぎ、3夕顔のつゆ、4末摘花のつゆ、5紅葉賀のつゆ、6花宴のつゆ、7葵のつゆ、8賢木さかき、9花散里のつゆ、10蓬生のつゆ、11松風のつゆ、12橘のつゆ、13藤袴のつゆ、14真木柱のつゆ、15梅枝のつゆ、16藤裏葉のつゆ、17若菜上のつゆ、18若菜下のつゆ、19柏木のつゆ、20紅梅のつゆ、21竹河のつゆ、22椎本のつゆ、23早蕨のつゆ、24宿木のつゆ

桐壺

光源氏の物語は、源氏の母桐壺の更衣が帝から寵愛を受けたことから始まる。源氏が三才のとき亡くなり帝は悲嘆にくれる。数年後、帝は桐壺によく似た藤壺を迎え入れる。やがて長じた源氏は養母である藤壺に恋をし、遂に越えてはならぬ線を越え、藤壺は源氏の子をみごもる。以後、藤壺はこの不倫の罪を一生深く悩むのであった。

桐は暖地に育つ木で、かつて道南の海岸でバスの窓から花が咲いているのを見た。旭川では冬の寒さで育たないと思っていたが、昨年、市内の向陵小学校の校門の脇で小さな花をつけているのを見た。温暖化の証拠なのかもしれない。

藤の大木は男山酒造の庭、春光6区の高木勝さんの庭で見られる。高木さんの藤は5月下旬ころから一万に近い花数を見ることが出来る。



キ リ フ ジ

帯木

この帖には名高い「雨夜の品定め」の一節がある。源氏は共に女好きの悪友と集まってあれこれと女の話がはずむ。女を上流、中流、下流の品別に分けて、上流の女でもつまらない人もあり、中流の女にもすばらしい廻り出し物があるなどと理想の女を談ずる。

帯木とは遠くから見えるが近くによると見えなくなるという伝説の木のこと。

人の妻であり中の品である空蟬の身に心を奪われ、かたくなに抵抗する空蟬と契りを結ぶがその後空蟬は決して会おうとはしない。源氏は近づくと見えなくなる帯木のようなだとなげくのである。

夕顔



ユウガオ

源氏が下町を通りかかったとき、小さな家に夕顔の花が咲いていた。この屋の女、夕顔は下の品ではあるが優しさ艶かしさに魅せられて遂に情熱をかたむける。

ある夜、二人がとろとろとまどろんだころ夕顔は物の怪に襲われ息が絶える。

夕顔はカンピョウのことで、私が子どものころ農家では自家用のカンピョウを作るため夕顔を植えていたものだ。

ユウガオはつる性で夏、白い大きな花が咲く。実は直径20センチくらいで長さは1メートル近くにもなる。ヘチマより太く黄緑色でソーセージを大きくしたような形でぶら下がる。子どものころ道端で20センチくらいの小さな実が見つけた。

その実に「世の中はなんのへちまと思えども、ぶらりとしては暮らされもせず」と鉛筆の先で書いた。この狂歌は小学校の国語で習ったものだ。秋になってその場所を通りかかったら大きな実がぶら下っており、字も大きくなって実いっぱいに残っていた。悪たれ小僧のころの思い出である。

実の中心部はかんぴょうにならない。油いためか煮つけか食べた記憶がある。

冬に向けての園芸作業 ～10月・11月

球根類 ～ 掘り上げ、植込、保管

- ・チューリップ、ヒアシンス、ムスカリ、スイセン等の秋植え球根は10月中旬までに植込みを済ませます。
- ・ユリは2～3年は植え替え不要。掘り上げる場合は秋遅く茎葉が枯れ、球根が最大限太ってから。仔球と親球を選別し根が乾かない内に深めに植え込みます。
- ・ダリアは霜がきて葉が枯れるまで育て球根を太らせてから掘り上げます。茎を短く残り切り分けしないで1度表面を乾かし、湿ったピートモス等を詰めた箱に入れ干からびないようにし低温で貯蔵します。カンナもこれに準じます。
- ・鉢植えのアマリリスは霜の直前まで外で育てた後、葉の部分を切り、凍結しない程度の寒い所で保管します。(この時植え替えておいても良い)

鉢物草花等の入室と管理

- ・クンシラン ～ 霜の来る前に入室、8～10℃の場所に60日以上置きます。
- ・アザレア ～ 軽い霜が来るまで戸外で良い。入室後は低温(10℃以下)で30日以上置きます。
- ・ハイビスカス、ブーゲンビリア ～ 早めに入室、高い温度と強い光線が好きな植物です。条件が揃わなければ、枝を切り詰め、水控えめ、肥料不要、低めの室温(15℃前後)で管理、春まで待つほうが無難です。
- ・短日操作 ～ ポインセチアは50日以上短日操作で開始から約80日程で開花(昼20℃以上、夜温15℃前後)、カランコエは30日、シャコバサボテンは20日間以上の操作で開始から約60日で開花(昼20℃、夜15℃)
- ・観葉植物の室内管理 ～ 早めに入室、以後水は控えめ、時々葉に霧吹き、肥料は不要です。低めの温度で成長を押さえるように管理する方が無難です。
- ・シクラメンの管理 ～ 明るい窓辺で、水は常時(球根の上部を濡らさないように)10日に1回液肥を施す。室温は低めに20℃以下が良い。

果樹・庭木の越冬準備

- ・越冬病虫害の防除 ～ 果樹のシンクイムシ、ケムシ。庭木のカイガラムシ、グンバイムシ等害虫のサナギや幼虫。果樹、庭木の灰星病、フクロミ病、モチ病、サビ病等の病原菌は落葉の下、樹皮のすき間や割れ目、枯れた雑草の下に潜み春を待っており。落葉などは丁寧に集め土に埋めるか、別の場所に堆肥として積んでおきます。落葉後に石灰硫黄合剤10～30倍液を樹の幹や枝に、また地面にも散布しておきますと効果的です。
- ・剪定 ～ 秋の落葉後から春の芽だし直前までが適期といえますが、厳寒期に切り口が凍結し被害を受けることもありますので、翌年3月過ぎまで待つほうが無難です。ただし、カエデ類、果樹のブドウ等は秋にうちに済ませます。春の剪定では切り口からの樹液のしみ出しが止まらず、樹勢の回復に時間がかかり枯れ込む場合もありますので注意してください。

新しい室内園芸のために

(1) 植物を育てるための最低温度 ()内は理想の温度

<p>最低でも13~15℃の温度を必要とするもの (日中25~30℃ 夜間20℃)</p>	<p>クロトン、アンズリュウム、アフエランドラ、ネベンテス、ディフェンバキア、カラテア、マランタ、ポトス、ゴムノキ(ふ入り)、カトレア(高温性)、ファレノプシス、デンファレ系、バンダ、ドラセナ(マッサンゲアナ)、グズマニア、フィットニア、パパイア、ドリアン、コルジリネ(アイチアカ)。</p>
<p>最低でも10℃の温度を必要とするもの (日中20~25℃ 夜間15~20℃)</p>	<p>ハイビスカス、ブーゲンビレア、ポインセチア、クレロデンドロン、ジャスミン(マダガスカル)、シェフレラ、ベラルゴニューム、フクシア、ランタナ、ファトスヘデラ、ディブラデニア、ノボタン、アブチロン、バキラ、アロエ、ゼラニューム、サンタンカ、コエビソウ、ケンチャヤシ、スバシフィラム、モンステラ、ストレリチア、トラデスカンチア、フィロデンドロン、フチベニベンケイ(金のなる木)、ハナキリン、アデニューム、ハートカズラ、オンシジューム、ミルトニア、マスデバリア、リカステ、シンビジューム(大型)、デンドロビューム、オリヅルラン。</p>
<p>最低でも5℃前後の温度を必要とするもの (日中15~20℃ 夜間10~15℃)</p>	<p>シクラメン、シネラリア、プリムラ類、アザレア、クンシラン、シャコバサボテン、カランコエ、シンビジューム(小型)、カルセオラリア、ツバベニアナナス、ピカクシダ、リュウゼツラン、アオキ、アスパラガス、アガパンサス、ヤツデ。</p>

(2) 光線の強弱と花の種類

(強光) できるだけ窓越しの陽光を必要とする種類

シクラメン、シネラリア、プリムラ類(オブコニカ、ポリアンサ、マラコイデス)、カルセオラリア、カランコエ、フクシア、ハイビスカス、クレロデンドロン、ゼラニューム、ノボタン、アデニューム、シャコバサボテン、ブーゲンビレア、ジャスミン(マダガスカル)、ゴムノキ(ロブスタ)、クロトン、バンダ棒状種、シンビジューム、デンドロビューム(ノビル系)。

(中光) 光線を比較的多く必要とする種類

アザレア、ポインセチア、インパチェンス(ニューギニア)、ストレプトカーパス、ゴムノキ(アポロ)、スバシフィラム、ネベンテス(ウツボカズラ)、ドラセナ(幸福の木)、ベゴニア(メタリカ=天の川)、セントポーリア、カボック(シェフレラ)、カトレア、オンシジューム、バンダ(一般種)。

(弱光) 弱い光線でも育つ種類

アイビー、アジアンタム、アンズリュウム、クンシラン、ディフェンバキア、ビレア、ポトス、フチベニベンケイ、ファレノプシス、パフィオベディルム、ミルトニア、リカステ、マスデバリア。(レースのカーテン1枚。遮光30%)